

## 2 整備場所の検討

### 2.1 建設場所

建設場所は、半田中央インターチェンジから近く広域の利用が見込め、他スポーツ施設との連携も期待できることから、「半田びよログスポーツパーク (半田運動公園)」(以下、半田運動公園) 敷地内とします。

〈公園概要〉

所在地	愛知県半田市池田町 3 丁目 1-1
用途地域	市街化調整区域
敷地面積	267,000 m <sup>2</sup>
駐車場	730 台
主要施設	陸上競技場、テニスコート、 バスケットボールコーナー、 スケートボードコーナー、 デイキャンプ場、各種広場 など

〈位置図〉



### 2.2 整備場所の検討

建設場所である半田運動公園敷地内には既に多くの公園施設が設置され、新総合体育館の設置可能場所は限定されています。想定される施設規模が総延床面積約 9,000 m<sup>2</sup>であることから、以下の公園案内図中の「A」「B」「C」「D」の4箇所を設置候補地としました。

各候補地について、敷地条件や既存利用者への影響、公園既存施設との連携、駐車場との近接性、体育館整備以外に要する事業コストの4つ観点から考察した結果、整備場所を候補地「D」としました。

〈公園案内図〉



出所：半田びよログスポーツパーク ホームページ「公園案内図」より作成

〈評価結果〉

候補地	評価
A	面積が小さく不整形であるため施設配置上の課題があり、現在は芝生広場として子どもの遊び場やスポーツ実施のきっかけとなる場として利用されており、既存利用者への影響が大きい点が課題となります。
B	十分な面積確保は可能と考えられますが、傾斜が大きき造成に多額の費用がかかることや、埋蔵文化財包蔵地が含まれており事業期間延伸等のリスクがある点が課題となります。
C	整形・平坦かつ十分な敷地面積がありますが、多目的グラウンドとして屋外スポーツの会場として利用されており、既存利用者への影響が大きい点が課題となります。また、陸上競技場をはじめとする公園既存施設との距離が離れており連携が期待しづらい点や、隣接する駐車場規模が小さく利用者利便性が低い点も課題となります。
D	整形・平坦かつ十分な敷地面積があり、現在は駐車場として利用されているため既存利用者への影響が小さい点で他候補地に比べて優位性があります。また陸上競技場管理事務所や芝生広場と近接しており、既存施設との連携が期待できます。 ただし、隣接する第1駐車場の規模が小さく利用者利便性が低い点や、既存駐車場を減らすことによる公園全体としての駐車場不足が課題となります。 ※駐車場計画については「4. 施設計画」にて別途詳細検討